

新年度予算 多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらし

議員全員で構成する予算特別委員会（委員長：江上しほり、副委員長：大野哲也）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月11日から18日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、空き家・空地対策、子ども・子育て支援や施設・機器等の整備・改修、交通安全・防災・防犯対策等の取組など多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月24日の本会議において、全ての予算議案及び条例議案を可決し、令和8年度における一般会計予算の総額は624億4,000万円となりました。

予算特別委員会の主な意見・要望

◆老朽危険家屋等除却促進事業費補助

毎年度予算が不足し補正予算を編成していることに加え、周辺に与える安全面や衛生面への影響や景観上の観点から、補助対象となった家屋等には速やかに対応できるよう十分な予算を確保してほしい。

◆結婚支援

結婚を望む人に結婚できる環境をつくることを望む声が多くあり、その取組を進めることが結婚を望む当事者のみならず、親などの幅広い世代への支援にもつながることから、積極的に推進してほしい。

◆総合評価方式における低入札価格調査限度価格

同調査基準額に0.95を乗じた額としているが、建設業が災害時の地域の守り手であることや、担い手不足が深刻化していることを踏まえ、県や他都市並みへの引上げを早期に実施してほしい。

◆有害鳥獣対策

ICTを活用したわなの見回りシステム等を導入することにより、猟友会が毎日行っているわなの見回り等の負担軽減につながることから、引き続き、ICT活用を含めた方法を検討してほしい。

◆地域の防災力強化

高潮浸水想定区域が示される中、地域によって想定される災害や被害が異なることから、地域ごとの具体的な取組を進めてほしい。

◆新規就農施設整備事業

高額収益が見込める作物だけではなく、中高年齢者への支援や、耕作放棄地を減らすような補助の検討を行い、農地保全をしてほしい。

◆学校給食費負担軽減事業

給食費が無償化されるものの、様々な事情で給食を利用していない児童生徒もいることから、制度の公平性を踏まえ、給食を利用していない児童生徒への給食費相当額の給付を検討してほしい。

◆おおむた「大蛇山」まつり持続化補助

3年前よりも補助額が減少していることから、実行委員会と連携し、収支の改善や新たな財源の確保に努めてほしい。

◆文化会館

高齢者にとって小ホールや大ホールの舞台への昇降階段は危険であることから、安心・安全な施設提供の一環として、常設または取り外し式の手すりを設置してほしい。

◆官民連携まちなか再生推進事業

まちなか全体の再生を目指し、目配り・気配りをしながら、まちなか全体がにぎわうよう、バランスの取れた予算配分に取り組んでほしい。

◆防犯カメラ設置補助事業

カメラの設置が防犯・犯罪抑止に寄与するものの、個人のプライバシーや肖像権への十分な配慮が必要であることから、地域住民の理解と協力の下、安心・安全なまちづくりを進めてほしい。

◆体育館空調設備設置事業

体育館は避難所にもなることから、非常時の電源確保等の諸課題を整理し、災害時の設備復旧に要する時間が可能な限り短くなるよう防災危機管理室と協議した上で進めてほしい。

◆水洗化促進キャンペーン事業

5年間の合併処理浄化槽への切替え目標をクリアしたことで、キャンペーンの効果が表れていることから、令和9年度以降も効果的な事業の展開を図ってほしい。

